

事後調査計画（工事の実施時）（1）

環境項目		保全措置 の効果	調査項目	事後調査の内容		年度/事業細目					
						令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
大項目	小項目			調査地点	調査時期及び調査方法	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					造成 工事 1	造成 工事 2	施設 建設 工事1	施設 建設 工事2	施設 建設 工事3	施設 建設 工事4	
工事实施状況		—	工事計画、 工事方法、 環境保全措置 の実施状況	—	【調査時期】 建設工事中 【調査方法】 工事計画、工事方法、環境保全 対策実施状況の把握・集計、及 び現地確認による方法 (現地確認 月1回×12ヶ月)	○	○	○	○	○	○
大気 汚染	建設 作業 粉じん	粉じんの発 生抑制	降下ばいじん	対象事業 実施区域 2地点	【調査時期】 土工事期間の建設機械の稼働台 数が最大と考えられる時期(30 日間) 【調査方法】 ダストジャーを用いる方法		○				
騒音・ 振動	建設機 械騒音 ・振動	騒音・振動 の発生量の 抑制	騒音レベル 振動レベル	敷地境界 3地点 最寄りの 人家付近 4地点	【調査時期】 建設機械の稼働台数が最大と考 えられる時期(1日間) 【調査方法】 「特定建設作業に伴って発生す る騒音の規制に関する基準」等 に規定される方法			○			

※中間報告書の作成時期：工事の中間段階にあたる時期（2028年頃）、完了報告書の作成時期：工事が完了する時期（2032年頃）

事後調査計画（工事の実施時）（2）

環境項目		保全措置 の効果	調査項目	事後調査の内容		年度/事業細目					
						令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
大項目	小項目			調査地点	調査時期及び調査方法	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					造成 工事 1	造成 工事 2	施設 建設 工事1	施設 建設 工事2	施設 建設 工事3	施設 建設 工事4	
水質 汚濁	濁水	濁水の流出 の低減	浮遊物質量	調整池 放流点 1地点	【調査時期】 土工事期間中の平水時及び降水 時（1時間降雨量が16.5mm/h程 度）（各1回） 【調査方法】 日本産業規格に規定される方法		○				
			pH、浮遊物質 量	排水先水 路の排水 口前後2 地点	【調査時期】 土工事期間中の4季・平水時に 各1回 【調査方法】 日本産業規格に規定される方法	○	○				
			pH、浮遊物質 量	仮設濁水 処理施設 の処理前 後2地点	【調査時期】 造成工事期間（2年間） 【調査方法】 工事施工事業者による水質モニ タリング結果を収集整理する方 法	○	○				

事後調査計画（工事の実施時）（3）

環境項目		保全措置 の効果	調査項目	事後調査の内容		年度/事業細目					
						令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
大項目	小項目			調査地点	調査時期及び調査方法	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					造成 工事 1	造成 工事 2	施設 建設 工事1	施設 建設 工事2	施設 建設 工事3	施設 建設 工事4	
植物・ 動物・ 生態系	陸上 植物	生育環境、生 育個体及び 個体群の保 全	ウスゲチョウ ジタデ、コギ シギシ、カワ ヂシャ、ミゾ コウジュ	環境創出 箇所	【調査時期】 保全措置完了後1年目（令和9 年）から3年目（令和11年）の 適季（春季、夏季、秋季） 【調査方法】 生育・繁殖状況調査（繁殖の有無 や生育範囲）			○	○	○	
	陸上 動物	生息環境、生 息個体及び 個体群の保 全	コウフオカモ ノアラガイ	環境創出 箇所	【調査時期】 保全措置完了後1年目（令和9 年）及び3年目（令和11年）の 適季（初夏、秋季） ※現地調査確認時期 【調査方法】 生息・繁殖状況調査（確認環境や 確認行動等）			○		○	
	水生 生物	生育環境、 生育個体及 び個体群の 保全	シャジクモ、 カワヂシャ	環境創出 箇所	【調査時期】 保全措置完了後1年目（令和9 年）から3年目（令和11年）の 適季（春季、夏季） 【調査方法】 生育・繁殖状況調査（繁殖の有 無や生育範囲）			○	○	○	
		生息環境、 生息個体及 び個体群 （在来個体 群）の保全	ミナミメダカ	環境創出 箇所、対象 事業実施 区域及び その周辺	【調査時期】 保全措置完了後1年目（令和9 年）及び3年目（令和11年）の 適季（夏季） ※現地調査確認時期 【調査方法】 生息・繁殖状況調査（確認環境 や確認行動等）、DNA分析			○		○	

※中間報告書の作成時期：工事の中間段階にあたる時期（2028年頃）、完了報告書の作成時期：工事が完了する時期（2032年頃）

事後調査計画（工事の実施時）（4）

環境項目		保全措置 の効果	調査項目	事後調査の内容		年度/事業細目					
						令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
大項目	小項目			調査地点	調査時期及び調査方法	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					造成 工事 1	造成 工事 2	施設 建設 工事1	施設 建設 工事2	施設 建設 工事3	施設 建設 工事4	
植物・ 動物・ 生態系	水生 生物	生息環 境、生息 個体及び 個体群の 保全	コガムシ	環境創出箇 所	【調査時期】 保全措置完了後1年目（令和9 年）及び3年目（令和11年） の適季（夏季） ※現地調査確認時期 【調査方法】 生息・繁殖状況調査（確認環境 や確認行動等）			○		○	
			ヒラマキミズ マイマイ、ヒ メヒラマキミ ズマイマイ	環境創出箇 所	【調査時期】 保全措置完了後1年目（令和9 年）及び3年目（令和11年） の適季（初夏、秋季） ※現地調査確認時期 【調査方法】 生息・繁殖状況調査（確認環境 や確認行動等）			○		○	
	生態系	—	オオタカ、ヒ バリ、ニホン アマガエル	対象事業実 施区域及び その周辺	【調査時期】 保全措置完了後1年目（令和9 年）の適季（繁殖期等） 保全措置完了後3年目（令和11 年）の適季（繁殖期等） ※現地調査確認時期 オオタカ：2月、3月、6月、 非繁殖期 ヒバリ：4月 ニホンアマガエル：7月 【調査方法】 生息・繁殖状況調査（確認環境 や周辺環境、確認行動等）			○		○	

※中間報告書の作成時期：工事の中間段階にあたる時期（2028年頃）、完了報告書の作成時期：工事が完了する時期（2032年頃）

事後調査計画（工事の実施時）（5）

環境項目		保全措置 の効果	調査項目	事後調査の内容		年度/事業細目					
						令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
大項目	小項目			調査地点	調査時期及び調査方法	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					造成 工事 1	造成 工事 2	施設 建設 工事1	施設 建設 工事2	施設 建設 工事3	施設 建設 工事4	
植物・ 動物・ 生態系	生態系	—	オオタカの 餌資源量調査	対象事業実 施区域及び その周辺	【調査時期】 保全措置完了後1年目（令和9 年）の適季（繁殖期等） 保全措置完了後3年目（令和11 年）の適季（繁殖期等） 【調査方法】 生息状況調査			○		○	
		地域生態 系の生物 群集の保 全	生物群集	環境創出箇 所	【調査時期】 保全措置完了後1年目（令和9 年）の適季（夏季） 保全措置完了後3年目（令和11 年）の適季（春季、初夏、夏 季、秋季、冬季） 【調査方法】 生育・生息状況調査			○		○	
	—	—	ヒアリング	—	動物・植物・事後調査に関して 2回				○		

※中間報告書の作成時期：工事の中間段階にあたる時期（2028年頃）、完了報告書の作成時期：工事が完了する時期（2032年頃）

事後調査計画（工事の実施時）（6）

環境項目		保全措置 の効果	調査項目	事後調査の内容		年度/事業細目					
						令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
大項目	小項目			調査地点	調査時期及び調査方法	2025	2026	2027	2028	2029	2030
					造成 工事 1	造成 工事 2	施設 建設 工事1	施設 建設 工事2	施設 建設 工事3	施設 建設 工事4	
環境 負荷	廃棄物・ 発生日土	再資源化 の促進	廃棄物の発生 量、資源化量 及び処分量	—	【調査時期】 工事全期間 【調査方法】 データの収集による方法	○	○	○	○	○	○
地域 交通	資機材 の運搬 車両の 走行	地域交通 への影響 の低減	交通量、 渋滞長、滞留 長	交差点 2地点	【調査時期】 資機材の運搬車両が最大になる 時期 (平日1日、1回) 【調査方法】 カウンター計測等の現地確認に よる方法	○					
騒音・ 振動・ 地域交 通	資機材 の運搬 車両の 走行	騒音・振動 の発生の 集中抑制、 地域交通 への影響 の低減	資機材の運搬 車両台数及び 騒音・振動・地 域交通への寄 与の程度	—	【調査時期】 工事計画より、資機材の搬入が 最大になると考えられる時期 (平日1日、1回) 【調査方法】 工事計画及び搬入実績の整理、 資機材の運搬車両に対する搬入 経路のヒアリングによる方法	○					

※中間報告書の作成時期：工事の中間段階にあたる時期（2028年頃）、完了報告書の作成時期：工事が完了する時期（2032年頃）

環境創出箇所の管理（工事の実施時）

項目	対象	実施場所	実施時期及び内容	年度/事業細目					
				令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
				2025	2026	2027	2028	2029	2030
				造成 工事 1	造成 工事 2	施設 建設 工事1	施設 建設 工事2	施設 建設 工事3	施設 建設 工事4
維持管理	環境の維持 保全対象種 生物群集	環境創 出箇所	【実施時期】 保全措置完了後1年目～4年目の年4回 （令和9年～令和12年） 【実施内容】 止水・水辺・湿地環境の管理、環境攪乱、多年性高茎草本の 除去、種子採取播種等 ※問題が生じた場合は、発注者と協議により作業内容を決定 し、維持管理に努める。			○	○	○	○
管理マニ ュアルの作成	環境の維持 保全対象種 生物群集	環境創 出箇所	【実施時期】 保全措置完了後4年目 【実施内容】 供用時の継続維持管理に向けた環境創出箇所の管理マニ ュアルを作成する。 なお、有識者から助言を得て作成する。						○

※中間報告書の作成時期：工事の中間段階にあたる時期（2028年頃）、完了報告書の作成時期：工事が完了する時期（2032年頃）